

和歌山県

地域医療支援センター

C M S C

COMMUNITY MEDICAL SUPPORT CENTER

www.cmssc.jp/



令和4年度

活動報告書

和歌山県立医科大学 地域医療支援センター

CONTENTS.....

はじめに.....	1
業務内容.....	2
年間スケジュール.....	3
医師不足状況等の把握・分析.....	6
▶和歌山地域医療マネジメント研究会	
医師不足医療機関の支援、緊急時医師派遣・若手医師支援 ...	7
▶地域医療枠・県民医療枠医師配置	
▶地域医療学講座・医師配置	
▶地域医療機関医師適正配置検討委員会	
▶遠隔医療支援システム	
▶遠隔外来	
▶勉強会「WING」の開催	
▶遠隔救急支援システム	
医師のキャリア形成支援・地域医療従事医師の養成	11
▶AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース講習会	
▶新入生説明会	
▶地域医療枠及び県民医療枠学生対象の学会早期体験研修	
▶JMECC（内科救急・ICLS）講習会	
▶和歌山県副知事表敬訪問	
▶夏季病院見学（県民医療枠）	
▶夏季実習研修（地域医療枠）	
▶地域医療枠及び県民医療枠1、6年生面談	
▶和歌山県立医科大学専門研修プログラム説明会	
▶キャリア形成計画（ヒアリング）	
▶プライマリ・ケアセミナーの開催	
▶紀伊半島地域医療連絡協議会	
▶医師臨床研修指導医講習会の開催	
▶医師のワークライフバランスに係る講演会の開催	
▶キャリア形成プログラム冊子の作成	
▶スキルスラボの充実	
情報発信と相談への対応.....	18
▶オープンキャンパス	
▶地域医療学講義	
▶報告書等の作成	
▶ホームページ・Facebookの運用	

はじめに

平素より当センターの活動と地域医療枠・県民医療枠学生、研修医の教育にご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当センターは、平成 23 年 4 月に和歌山県からの委託により和歌山県立医科大学内に設置され、本県の課題である医師の地域偏在及び診療科偏在の解消に向けて様々な取組を行っています。

卒業後 9 年間へき地医療拠点病院を中心に研修を行う「地域医療枠医師」、地域中核病院での研修を行う「県民医療枠医師」の 1 期生は、令和 4 年度で医師 9 年目となり、県内医療機関で活躍するとともに、県内医療機関からの医師配置要望にも徐々に応えられる段階に入ってきています。

今後も県の医療計画に沿って、県、県内医療機関、県医師会及び病院協会等との連携を密にしながら、地域医療の充実に向けてさらなる努力を行ってまいります。

その為には能力の高い医師を多く育てる必要があると考えています。能力が高い医師について私はよく山にたとえて話をしています。裾野は「人を診る力」と「病気を診断する力」にあたり、山頂は「病気を治療する専門医力」にあたります。裾野が広ければ広いほど、山頂も自ずと高くなります。私は富士山のような、広い裾野と高い山頂を持った、つまり、総合診療能力と高い専門知識、技量を持った医師を育成したいと思っています。

平成 26 年に構築した遠隔医療支援システム（インターネットを利用したテレビ会議システム）につきましては、県内公的病院等 26 施設へシステム端末を設置するとともに、平成 29 年度より 3 年間にわたり、NTT ドコモ、和歌山県との協働で 5G を活用した遠隔診療に関する実証試験を実施しました。昨年 2 月には、新システムに更新し引き続き遠隔外来及び遠隔講義聴講に活用しているところです。

また、本年 3 月には、企業との協働でドローンにより医薬品を運ぶ実証実験を実施しました。これにより、配送時間や品質管理において十分に実運用が可能であることが確認でき、引き続き県内のへき地診療所等への医薬品提供を想定した実証実験を行うなど、ドローン活用の実用化に向けた取組を進めていきます。

今後も「地域の住民の皆さんが医療に困らないための仕組みづくり」に向け、地域の医療機関と連携しながら若手医師の育成と適正配置を進めていきたいと考えておりますので、皆様方のご支援、ご指導をお願い致します。



和歌山県立医科大学 地域医療支援センター
センター長・教授 上野 雅巳

業務内容

医師不足状況等の把握・分析

- 和歌山地域医療マネジメント研究会の開催

医師不足医療機関の支援、緊急時医師派遣・若手医師支援（地域医療学講座）

- 若手医師が勤務する医師不足医療機関への指導医派遣
- 医師不足医療機関への支援（緊急的診療応援）
- 地域医療機関医師適正配置検討委員会の運営
- 遠隔医療支援システムの運用
- 遠隔医療の推進

医師のキャリア形成支援・地域医療従事医師の養成

- AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース講習会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠新入生説明会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠学生対象学会早期体験研修の実施
- JMECC（内科救急・ICLS）講習会の開催
- 副知事表敬訪問の実施
- 夏季研修
 - 県民医療枠学生：県内公的医療機関見学を実施
 - 地域医療枠学生：県内へき地医療拠点病院や保健所等での実習研修を実施
- 地域医療枠、県民医療枠 1、6 年生面談の実施
- 専門研修プログラム説明会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠医師対象ヒアリングの実施及びキャリア形成計画の作成
- プライマリ・ケアセミナー及び勉強会の開催
- 三重大学、奈良県立医科大学合同による紀伊半島地域医療連絡協議会への参加
- 医師臨床研修指導医講習会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠医師・学生対象講習会の開催
- キャリア形成プログラム冊子の作成
- スキルスラボの充実

情報発信と相談への対応

- 医学部オープンキャンパスでの地域医療に対する情報発信の実施
- 地域医療学講義の実施
- 後期研修医募集ブースの出展
- 地域医療支援センターパンフレットの作成
- ホームページ、Facebook の運用

年間スケジュール

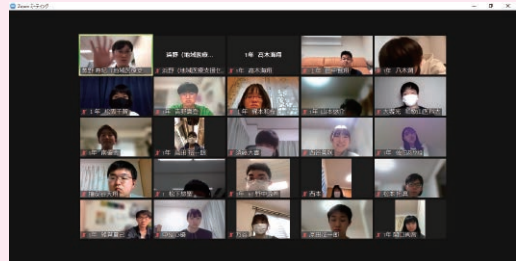
4

APRIL

●新研修医師説明会



●新入生説明会



5

MAY

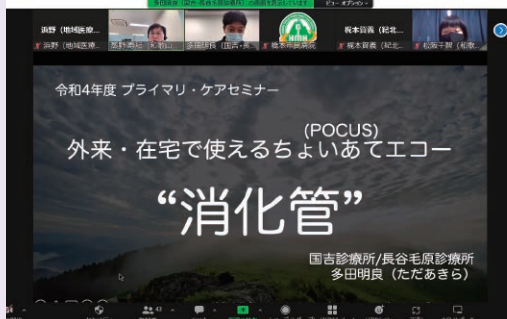
●第1回 JMECC（内科救急・ICLS）講習会



6

JUNE

●第1回プライマリ・ケアセミナー



7

JULY

●夏季実習研修（地域医療枠）

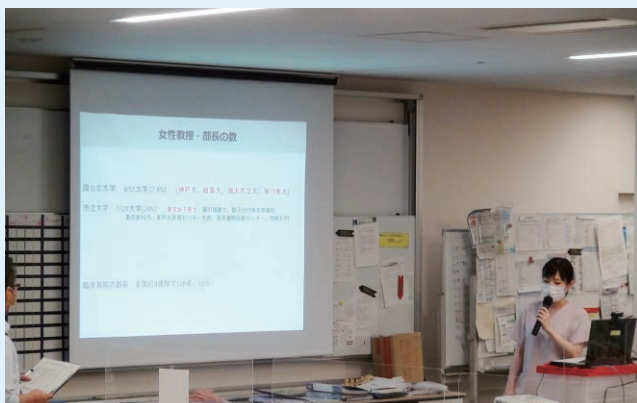


●夏季病院見学（県民医療枠）



●第2回 JMECC（内科救急・ICLS）講習会

●専門研修プログラム説明会



●第3回 JMECC（内科救急・ICLS）講習会

●県庁訪問

●学会早期体験研修(地域医療枠・県民医療枠)



●第2回プライマリ・ケアセミナー

●第4回 JMECC（内科救急・ICLS）講習会

10
OCTOBER

12
DECEMBER

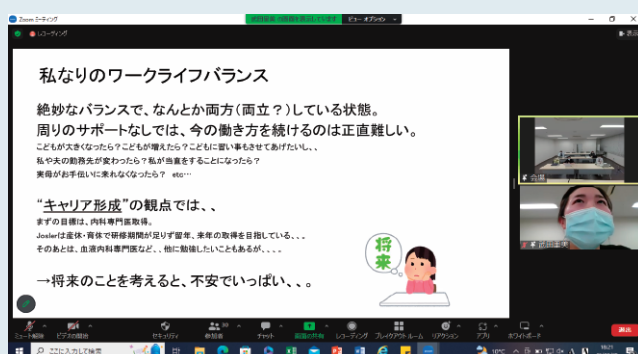
●三重大学、奈良県立医科大学合同による紀伊半島地域医療連絡協議会



●医師臨床研修指導医講習会（令和4年度はオンラインでの開催）

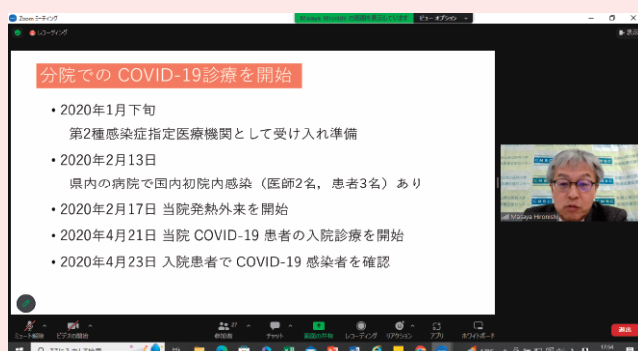
2
FEBRUARY

●医師のワークライフバランスに係る講演会



3
MARCH

●和歌山地域医療マネジメント研究会



医師不足状況等の把握・分析

和歌山地域医療マネジメント研究会

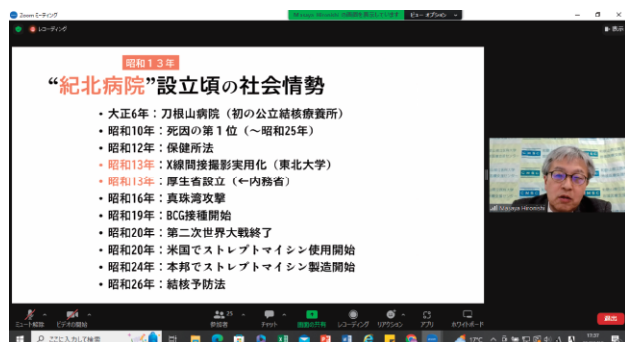
平成 25 年度から、医師や医療行政を担当する方、病院運営に携わる方など様々な職種の方々と一緒に和歌山県の地域医療に関する問題点や課題について考えることを目的として、年 1 回程度学術講演会を開催している。

令和 4 年度は、令和 5 年 3 月 16 日（木）に学術講演会『地域医療と紀北分院のあゆみ、これから』をオンライン開催し、県内外医療機関及び行政関係者等 31 名が聴講した。

< 講演内容 >

演題：「地域医療と紀北分院のあゆみ、これから」

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 廣西昌也分院長



令和 4 年度和歌山地域医療マネジメント研究会

第 1 回学術講演会

日 時：令和 5 年 3 月 16 日（木）17:30～18:30

開催方法：Zoom によるオンライン開催

演 題：『地域医療と紀北分院のあゆみ、これから』

講 師：和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 廣西 昌也



参加申込方法 ※事前のお申し込みが必要です。【3/15（水）午後 4 時締切】

①＜スマホ・タブレット＞の場合

右記の QR コードをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取り、申込みフォームからお申し込みください。



＜パソコン＞の場合

以下の申込みフォームに直接アクセスし、お申し込みください。

<https://forms.gle/gWHawi67Z6K7FZwk7>

②開催日前日までに、事務局より講演会専用 URL、ミーティング ID、パスワード等を記載した招待メールをご登録いただいたメールアドレスへ送信します。

③講演会当日、お時間になりましたら、講演会専用 URL 又はミーティング ID でアクセスし、ご参加ください。

主催：和歌山県地域医療支援センター（附属病院東棟 3 階）

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1 TEL：073-441-0845

医師不足医療機関の支援 緊急時医師派遣・若手医師支援

地域医療枠・県民医療枠医師配置

へき地医療拠点病院を中心に研修を行う「地域医療枠医師」、地域中核病院での研修を行う「県民医療枠医師」の配置状況は別図のとおり。

なお、地域医療枠医師及び県民医療枠医師の1期生は医師9年目となり、今後も県内医療機関で活躍する医師が増加する予定。

●医師配置状況

(R4.4.1時点)

保健医療圏	地域医療枠	県民医療枠	合 計
和歌山(和歌山市)		18	18
和歌山(海南市、紀美野町)	3	6	9
那 賀	4	8	12
橋 本	1	12	13
有 田	2	2	4
御 坊	5	3	8
田 辺	7	15	22
新 宮	11	8	19
合 計	33	72	105

●学生数(参考)

(R4.4.1時点)

区 分	地域医療枠	県民医療枠	合 計
医学部1年生	10	23	33
医学部2年生	10	20	30
医学部3年生	10	19	29
医学部4年生	10	23	33
医学部5年生	9	22	31
医学部6年生	11	22	33
合 計	60	129	189

地域医療学講座・医師配置

和歌山県立医科大学の医師(指導医)が自治医科大学や地域医療枠等を卒業した若手医師が勤務する医師不足医療機関にローテーションで出向する仕組みを運用し、指導医は出向先である当該医療機関で勤務して地域医療の充実に貢献するとともに、同じく勤務する若手医師の指導を行った。

●緊急時医師派遣・若手医師支援

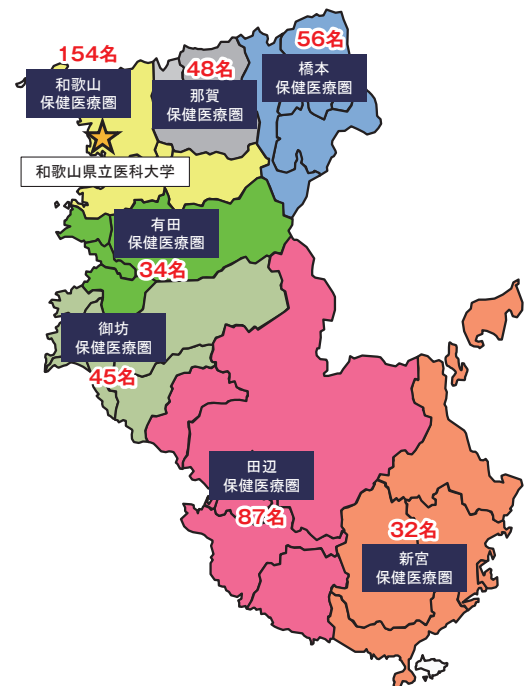
(地域医療学講座による指導医の配置)

有田市立病院内科	2名
紀南病院内科	1名
新宮市立医療センター内科	2名
海南医療センター内科	1名

●医師配置状況(令和4年4月1日現在)

県内公的病院等 456名(右図のとおり)

県内公的病院等への医師配置状況

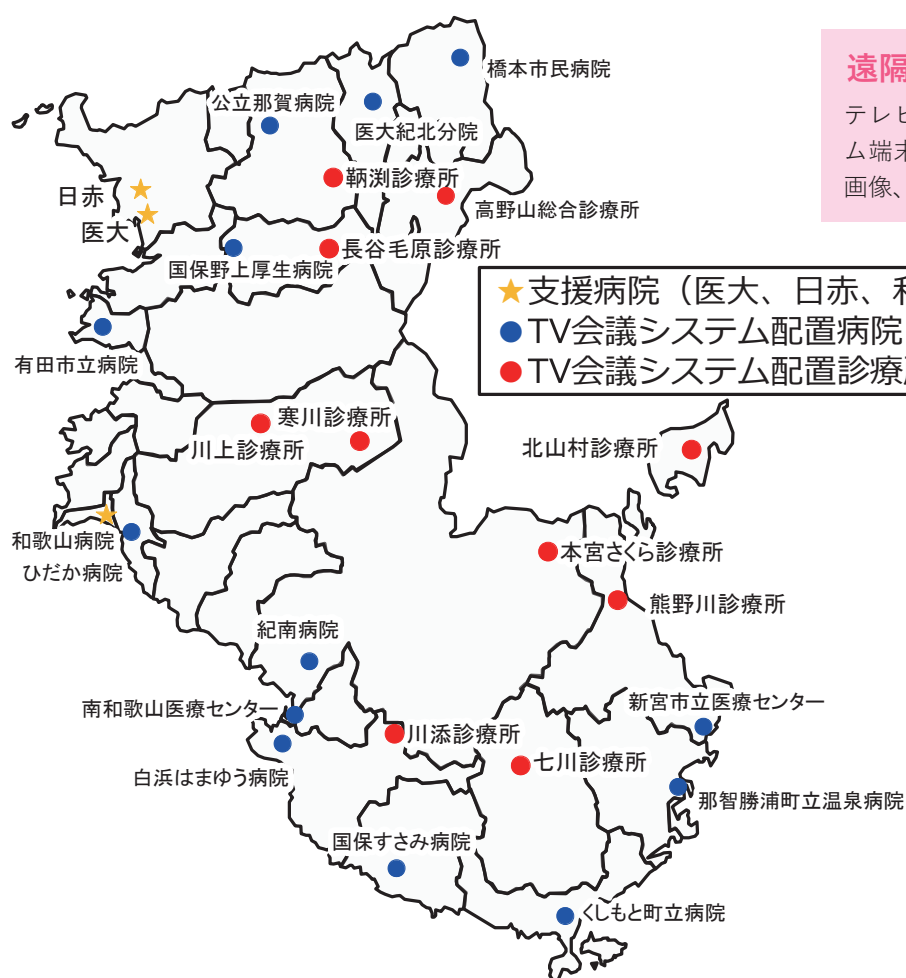


地域医療機関医師適正配置検討委員会

平成 25 年から、地域医療機関からの常勤医師配置要請に対して、支援の必要性について審議する地域医療機関医師適正配置検討委員会を学内に設け、大学として一元的に対応している。令和 4 年度は 12 の医療機関から要請があり、10 の医療機関に対して必要性ありと判断し、令和 5 年度から 7 の医療機関に 12 名の医師を配置予定である。

遠隔医療支援システム

へき地診療所等に遠隔医療支援システム端末を設置し、遠隔外来支援、遠隔講義聴講を実施することにより、勤務医師の診療支援及び地域医療従事者等のキャリア形成を支援した。また、遠隔医療支援システム構築・運用保守について、2 月に新システムを導入。パソコン及び周辺機器についてはリース契約、会議システムについては Webex Meetings を導入し、運用を開始した。



遠隔医療支援システムとは？

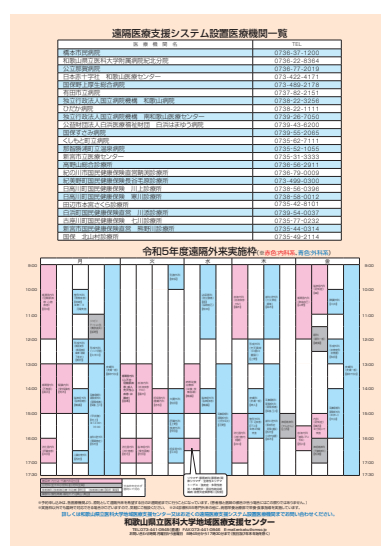
テレビ会議システムを利用し、システム端末設置医療機関とリアルタイムで画像、音声等の情報交換が可能。

- 平成 25 年度末までに本学と県内 13 公的医療機関にシステム端末を設置
- 平成 27 年度末には、平成 28 年度から地域医療従事者が勤務する紀南病院を含め、新たに 3 医療機関にシステム端末を設置
- 平成 29 年度末には、新たに 6 医療機関にシステム端末を設置
- 平成 30 年度末には、新たに 4 医療機関にシステム端末を設置

遠隔外来

和歌山県立医科大学附属病院から遠い地域に住む県民が地元の医療機関で本院の専門医のアドバイスを受けることが可能となる遠隔外来を実施した。

令和4年度は、実施枠を22診療科48専門外来及び栄養指導に拡大した。



● システム端末設置医療機関との協定の締結や本院における実施診療科の選定等を経て、平成26年7月11日から実施している。

● 令和4年度実績（39件）

皮膚科	22件	神経精神科	1件
病態栄養治療部	8件	整形外科	1件
血液内科	4件	外科学第二	1件
内科学第二	2件		

● 遠隔外来広報チラシ及びポスターを作成し関係者へ配付するとともに、ホームページや病院広報誌「まんだらげ」及び県民の友を通じて、県民への周知を図った。

● システム端末設置医療機関を訪問し、医師や関係職員へ利用状況をヒアリングするとともに、利用方法等について個別説明を実施した。



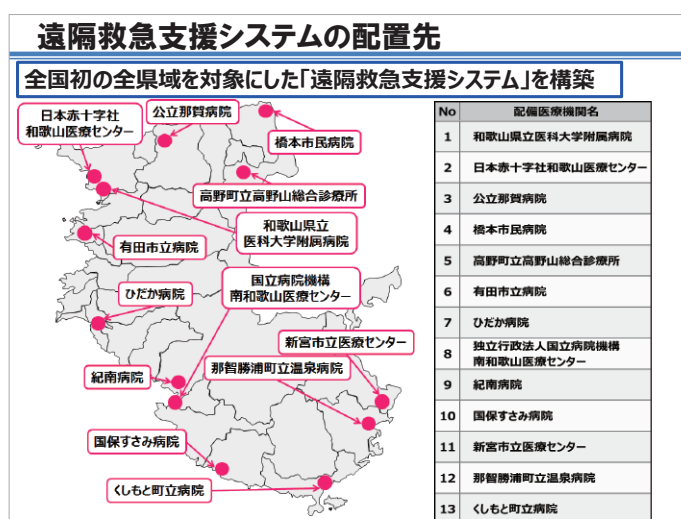
勉強会「WING」の開催

地域枠医師・学生を対象とした勉強会「WING」（司会進行：蒸野副センター長）を8回オンライン開催し、地域枠医師による派遣先病院紹介や症例検討などを行った。参加人数は第1回23名、第2回21名、第3回21名、第4回24名、第5回20名、第6回24名、第7回19名、第8回15名。



遠隔救急支援システム

遠隔救急支援システムに関しては、4診療科（循環器内科・心臓血管外科・脳神経外科・救急科）へ配備しているモバイル端末を活用し、県内13医療機関間で救急患者の検査画像等を正確かつ迅速に共有することで救急医療の連携強化を図っている。手術等の受入態勢及び治療開始時間の迅速化による救命率の向上や、不要不急の三次救急医療機関への転送防止による患者及び医師の負担軽減につなげている。また、令和2年2月から、新型コロナウイルス感染症の疑いがある患者の受入病院の選定にも活用している。令和4年度利用実績は、計253件であった。



医師のキャリア形成支援・ 地域医療従事医師の養成

AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース講習会

研修医の交流と心肺蘇生の確実な実技取得を目的として講習会を開催。

今年度は令和4年度本院採用研修医・歯科医62名及び臨床研修病院採用研修医・歯科医37名を対象とし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため8回に分けて少人数制で実施した。開催日は令和4年6月29日（水）、7月22日（金）、8月18日（木）及び9月16日（金）の午前・午後。



新入生説明会

令和4年4月26日（火）に地域医療枠及び県民医療枠新入生を対象に Zoom を用いたオンライン説明会を開催し、地域医療枠及び県民医療枠に求められる役割の周知を図った。

それぞれの募集枠の趣旨を新入生に詳しく説明・再認識を促すとともに、卒前・卒後のキャリア形成支援や研修・制度等について説明した。

地域医療枠

プライマリ・ケアを実践し、高い総合的能力を有する医師及び医師研究者を育てる。

和歌山県から修学資金が貸与される募集枠で、卒業後9年間のうち5年間は、へき地医療拠点病院等を中心に研修を行う。

県民医療枠 A

和歌山県の地域医療に携わるとともに、医療・医学のリーダーとして活躍できる人材を育てる。

卒業後9年間のうち4年間は、地域の中核的役割を果たす県内公的病院で研修を行う。

県民医療枠 B・C

和歌山県において産科、小児科及び精神科医療に貢献できる医師を育てる。

和歌山県から修学資金が貸与される募集枠で、卒業後9年間のうち5年間は、地域派遣対象医療機関にて、特定の診療科で研修を行う。

地域医療枠及び県民医療枠学生対象の学会早期体験研修

地域医療枠及び県民医療枠1～6年生の希望者を対象に学会早期体験研修を実施。令和4年10月14日（金）～16日（日）開催の第84回日本血液学会学術集会に13名が参加した。（現地参加12名・オンライン参加1名）



JMECC（内科救急・ICLS）講習会

令和4年5月28日（土）、7月16日（土）、10月9日（日）及び令和5年2月19日（日）に、地域医療枠及び県民医療枠医師等の能力向上を目的とし、主に研修医2年目を対象として講習会を開催した。受講者全員（42名）が二次救命措置（ALS:Advanced Life Support）の技能を習得した。

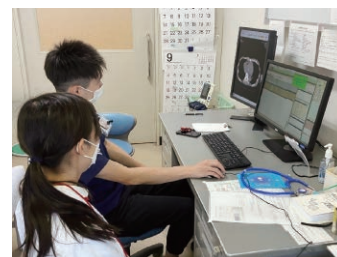


和歌山県副知事表敬訪問

令和4年10月13日（木）に地域医療枠及び県民医療枠の1年生29名が県庁を訪問し、副知事及び野尻孝子技監と懇談した。

夏季病院見学（県民医療枠）

県民医療枠 4 年生 18 名が、夏季休業中に卒業後に勤務する県内公的医療機関を見学した。



夏季実習研修（地域医療枠）

令和 4 年 7 月 19 日（火）～ 8 月 19 日（金）に地域医療枠 1 ～ 5 年生 45 名及び自治医科大学 1 ～ 5 年生 8 名が県内へき地医療拠点病院や保健所等の医療現場で実習・見学を行い、医師を志す者として地域医療の魅力や特性を理解し、地域医療に従事する医師の役割及び責任についての認識を深めた。



地域医療枠及び県民医療枠 1、6 年生面談

令和 4 年 6 月に地域医療枠及び県民医療枠 1 年生に対して、地域医療枠及び県民医療枠の制度説明、卒前・卒後のキャリア形成についてのヒアリングを実施した。

同 8 月に地域医療枠及び県民医療枠 6 年生に対して、卒業後の進路に関するヒアリングを実施した。

和歌山県立医科大学専門研修プログラム説明会

令和 4 年 7 月 28 日（木）～ 29 日（金）に本院の初期研修医を対象に専門研修プログラム説明会を開催し、プログラム内容等の周知を図った。

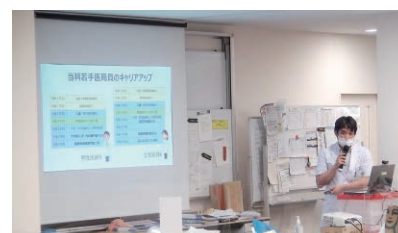
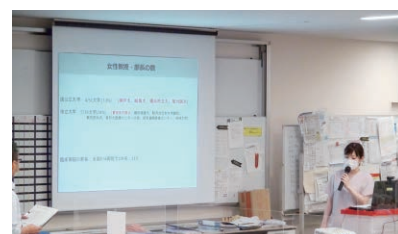
参加診療科等

●和歌山県立医科大学附属病院

内科、小児科、皮膚科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理、救急科、形成外科、リハビリテーション科、総合診療科

●わかやま社会医学系専門医研修プログラム管理委員会

社会医学



キャリア形成計画（ヒアリング）

地域医療枠・県民医療枠・近大和歌山県枠学生及び医師のキャリア形成支援の一環として、県の委託を受けて面談・ヒアリングを実施した。

- 令和4年7月に地域医療枠医師が派遣されている公立病院を訪問し、職場環境や業務内容に関するヒアリングを実施した。

地域医療枠医師 及び 近大和歌山県枠医師 勤務先

- | | |
|---------------|---------------|
| ●公立那賀病院 | ●橋本市民病院 |
| ●国保野上厚生総合病院 | ●有田市立病院 |
| ●県立こころの医療センター | ●ひだか病院 |
| ●紀南病院 | ●紀南こころの医療センター |
| ●南和歌山医療センター | ●国保すさみ病院 |
| ●くしもと町立病院 | ●那智勝浦町立温泉病院 |
| ●新宮市立医療センター | |

- 同11月に2年目研修医（地域医療枠、県民医療枠及び近大和歌山県地域枠）に対して卒後3年目以降のキャリア形成についてヒアリングを実施した。
- 同11月に地域医療枠医師に対して、次年度の勤務先についてヒアリングを実施した。
- 令和5年3月に県民医療枠医師が所属する診療科長に対して、個人毎のキャリア形成計画（卒業後3年目以降の勤務先病院）の作成を依頼・更新した。
- このほか、県民医療枠学生及び医師に関する個別事案への対応手順を定め、入学時に誓約している卒業後9年間のキャリア形成を本学及び地域中核病院で行うこと等に関して、義務の猶予等の申し出等があった場合、適切に対応できる体制を構築・運用している。

プライマリ・ケアセミナーの開催

総合的な診療能力を有する医師に必要な知識や技能を学ぶとともに、総合診療についての理解をより深めることを目的に、プライマリ・ケアセミナーをオンライン開催。総合診療に携わる指導医、総合診療に興味のある学生及び研修医等を対象とし、第1回（令和4年6月11日（土））は40名、第2回（令和4年10月29日（土））は25名が参加した。

<第1回講演内容>

演題：「外来で使える“ちょいあてエコー”（POCUS）」

国吉・長谷毛原診療所 多田明良所長

<第2回講演内容>

演題：「地域で診る排尿障害～処方のポイントと泌尿器科紹介のタイミング～」

新宮市立医療センター 内科 川端大輝先生

紀伊半島地域医療連絡協議会

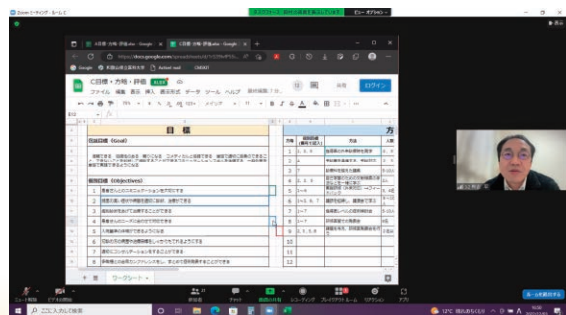
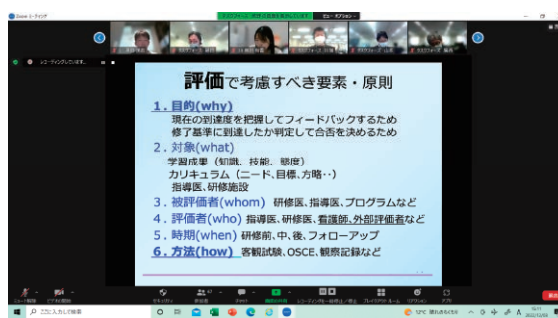
三重大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学の初期臨床研修医、教員等が一堂に会し、紀伊半島の地域医療、特にへき地医療について協議することにより、連携体制を構築するとともに、地域医療に貢献する医療人を育成することを目的として毎年輪番制で開催している。

令和4年度については、12月17日（土）に三重県伊賀市にて開催され、教職員7名及び研修医4名が参加した。教職員はコーディネーター会議（議題：初期研修期間に何を求めるか～大学病院における研修のありかた～）で発表及び意見交換、研修医はグループワーク（テーマ：卒後10年までに医師不足地域で常勤として勤務すべきか）を行った。



医師臨床研修指導医講習会の開催

令和4年12月3日（土）及び4日（日）に本院の主催により、指導医講習会を開催。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン開催とした。レクチャー・演習に加え、グループ作業や共有を交えて16時間の講習を実施し、合計48名に修了証書を交付した。



医師のワークライフバランスに係る講演会の開催

地域枠医師・学生を対象として、令和5年2月8日（水）に講演会『女性医師の出産・育児とキャリア形成について』をオンライン開催し、26名が参加した。

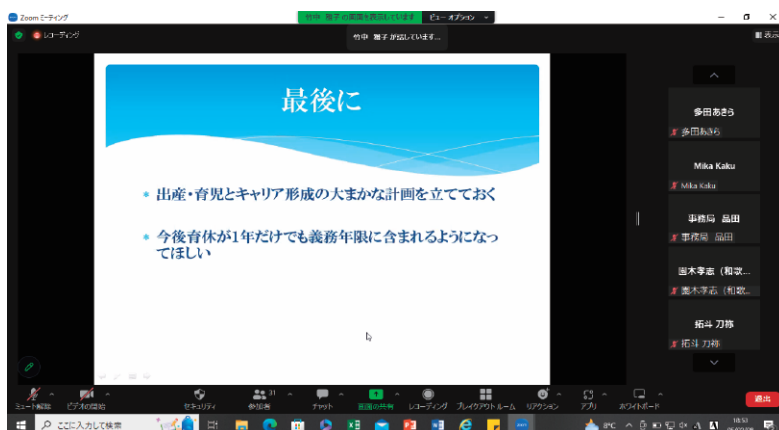
<講演内容>

演題1：「私なりのワークライフバランス」

和歌山県立医科大学 血液内科学講座 学内助教 武田里美先生

演題2：「地域医療における出産育児」

那智勝浦町立温泉病院 内科医師 竹中雅子先生

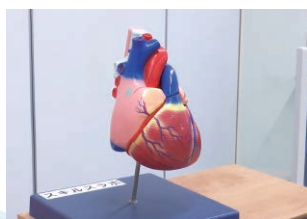
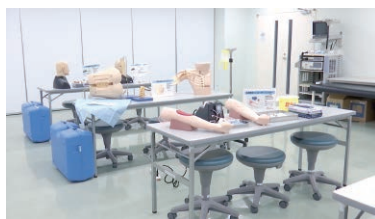


キャリア形成プログラム冊子の作成

新専門医制度の概要や各科プログラムを案内した冊子を作成、地域医療枠医師への配布や専門研修合同説明会で利用する等活用した。

スキルスラボの充実

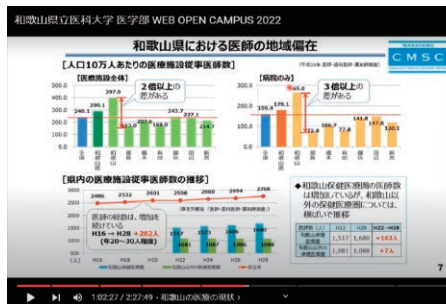
選択制臨床実習の期間に本学医学部6年生が地域の病院で行う実習の支援や若手医師が手技等を練習する場所であるスキルスラボの拡充を図った。使用実績は学内2,889件、学外440件、合計3,329件。



情報発信と相談への対応

オープンキャンパス

医大 Youtube チャンネルを活用した医学部オープンキャンパスに参加し、上野センター長による「和歌山県の医療の現状」についての講演をリアルタイム及び録画配信にて行った。



地域医療学講義

本学医学部2～4年生に対して、地域医療学の講義やグループワークを13講義実施。



地域医療支援センター活動報告書、地域医療支援センターパンフレット、遠隔外来広報チラシ及びポスター等を作成した。

地域医療枠・県民医療枠学生、医師の キャリア形成をサポートします！

● 地域医療枠 (修業年限5年)

ファミリー・クラシカル教育、臨床の基礎を固めることで医師のキャリア形成をサポートします。

1年次から2年次まで、地域医療に特化したカリキュラムを実施。地域医療の発展に貢献できる人材の育成を目的としています。

2020年度より、地域医療枠学生は、地域医療に特化したカリキュラムを実施。地域医療の発展に貢献できる人材の育成を目的としています。

● 県民医療枠 (修業年限5年)

ファミリー・クラシカル教育、臨床の基礎を固めることで医師のキャリア形成をサポートします。

1年次から2年次まで、県民医療に特化したカリキュラムを実施。県民医療の発展に貢献できる人材の育成を目的としています。

2020年度より、県民医療枠学生は、県民医療に特化したカリキュラムを実施。県民医療の発展に貢献できる人材の育成を目的としています。

● 地域医療枠 (修業年限5年)

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	7年次	8年次	9年次
医学部	大	大	大	大	大	大	大	大

「地域医療に特化したカリキュラム」を履修する

● 県民医療枠 (修業年限5年)

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	7年次	8年次	9年次
医学部	大	大	大	大	大	大	大	大

「県民医療に特化したカリキュラム」を履修する

● 地域医療枠B・C (修業年限 8年・3年6カ月 C枠 2年6カ月)

地域医療に特化したカリキュラムを実施。地域医療の発展に貢献できる人材の育成を目的としています。

2020年度より、地域医療枠B・C学生は、地域医療に特化したカリキュラムを実施。地域医療の発展に貢献できる人材の育成を目的としています。

● 県民医療枠B・C (修業年限 8年・3年6カ月 C枠 2年6カ月)

県民医療に特化したカリキュラムを実施。県民医療の発展に貢献できる人材の育成を目的としています。

2020年度より、県民医療枠B・C学生は、県民医療に特化したカリキュラムを実施。県民医療の発展に貢献できる人材の育成を目的としています。

● 地域医療枠B・C (修業年限 8年・3年6カ月 C枠 2年6カ月)

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	7年次	8年次	9年次
医学部	大	大	大	大	大	大	大	大

「地域医療に特化したカリキュラム」を履修する

● 県民医療枠B・C (修業年限 8年・3年6カ月 C枠 2年6カ月)

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	7年次	8年次	9年次
医学部	大	大	大	大	大	大	大	大

「県民医療に特化したカリキュラム」を履修する

令和4年度和歌山地域医療マネジメント研究会

第1回学術講演会

日 時：令和5年3月16日（木）17:30～18:30

開催方法：Zoomによるオンライン開催

演 題：『地域医療と紀北病院のあゆみ、これから』

講 師：和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 阪西 昌也



参加申込方法 **※事前のお申し込みが必要です。(3/15（木）午後4時締切）**

①②スマホ、タブレットの場合
右記のQRコードをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取り、申込みフォームから申し込みください。



③パソコンの場合
以下の申込みフォームに直接アクセスし、申し込みください。
<https://forms.gle/gWHaw67Z6K7FYZw47>

④開演前日までに、事務局より講演会専用URL、（メールアドレス、パスワード等）を記載した招待メールをご登録いただいたメールアドレスへ送信します。

⑤講演会当日、お時間になりましたら、講演会専用URL または「メールアドレス」でアクセス、ご参加ください。

主催：和歌山地域医療マネジメントセンター（附属病院医務課3階）
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1 TEL：073-441-0845

[illegible]

ホームページ・Facebook の運用

地域医療支援センターホームページや Facebook を通じて、随時活動状況を発信した。



医師を目指す方へ

➡ 医師になるには

先輩からのメッセージ

○先輩からのメッセージ



地域医療枠11期生
百名 孝太

医師を志す皆様へ

和歌山県立医科大学は、県内唯一の医科大学として臨床、研究、教育の全ての分野において和歌山県の医療の中核をなしています。そして、最先端の医療を提供すると同時に、地域医療枠を設置することで、県内の医師不足の地域に医療を提供する体制を整えています。超高齢化社会と呼ばれる現代においては、高血圧症や糖尿病など複数の基礎疾患を持つ患者さんが多く、こうした患者さんに向き合い、深く関わりながら地域に住む方々全体の健康を守り、支える医師が必要とされています。地域医療枠では、こうしたプライマリ・ケアの志を育む一環として在学中に夏季研修プログラムがあり、保健所や診療所、病院を訪れ実際の地域医療の現場見学することが出来ます。こうした貴重な経験ができるのも地域医療枠ならではのことです。今では地域医療枠の先生方も増え、オンラインでの勉強会など、学びの機会も充実しています。地域医療に少しでも興味がある方は、是非私たちと共に学び、将来の和歌山の地域医療を支えていきましょ。



県民医療卒11期生
赤松 里彩

医師を志す皆様へ

県民医療寮は、在学中の授業、実習などは一般枠の学生と同じカリキュラムですが、それに加え、県内の病院見学や、地域医療について学ぶ機会があります。県民医療寮、地域医療寮の学生が利用できる地域医療支援センターには自習スペースがあり、学生が学ぶ環境が整っています。各地の学生会やセミナーに参加することも推奨されており、コロナ禍においてもZoomでのイベントなど、学外の実習も積極的にサポートしてもらえます。

また、医師として働いている県民医療寮の先輩方と交流する機会もあり、在学中から自身の将来像を考えるきっかけとなりました。

卒後のキャリア形成については、5年生での実習を通して、実際に働く先生方が話を聞き、大学病院で学ぶことの重要性を実感しました。県民医療寮のモデルコースのように、バラスンく大学病院、地域中核病院での研修を行えることは、医師としてのキャリア形成にバラスであると感じます。

是非皆さんも、一緒に将来の和歌山県の医療を支える医師を目指しましょう。

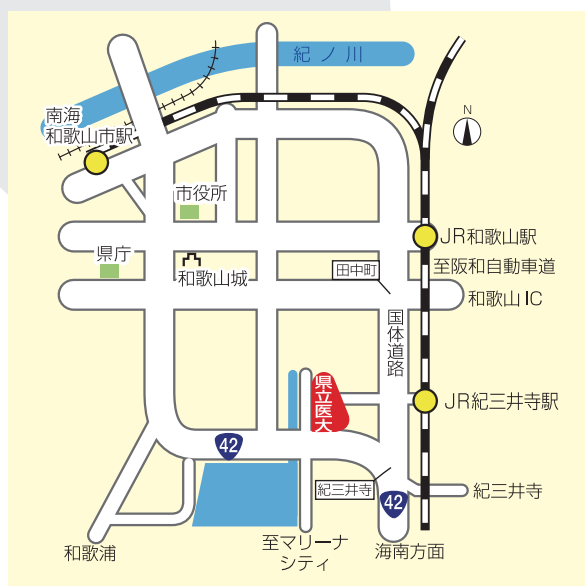


和歌山県立医科大学 地域医療支援センター

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1

TEL : 073-441-0845 FAX : 073-441-0846

Access Map



- JR紀三井寺駅 → 徒歩(約10分)
- JR和歌山駅 → バス・タクシー
- 南海和歌山市駅 → バス・タクシー



- JR和歌山駅前
 - 1 番のりば「医大病院」行 約25分
 - 2 番のりば「医大病院」行 約30分
- 南海和歌山市駅前
 - 1 番のりば「医大病院」行 約30分
 - 8 番のりば「医大病院」行 約30分
 - 9 番のりば「医大病院」行 約30分

令和5年6月発行

発行 和歌山県立医科大学 地域医療支援センター センター長
和歌山県地域医療支援センター センター長

教授 上野雅巳